

県立高校の目指す姿に関する アンケート調査結果（教員等）

令和 7 年 1 月

富山県教育委員会

目 次

I 調査概要.....	1
1. 目的.....	1
2. 対象者.....	1
3. 調査方法.....	1
4. 調査報告書の見方.....	1
II 回答者の属性.....	2
III 調査結果の概要.....	6
1. 将来の高校生のために、どのような県立高校が必要だと思うか.....	6
2. 県立高校の「目指す姿」(案)について感じたこと・将来必要だと考える教育の目標.....	7
3. アンケート調査票.....	10

I 調査概要

1. 目的

この調査は、令和6年度 第4回総合教育会議（令和6年11月20日開催）で議論した「県立高校の目指す姿」案に関して、現場教員等の意見を聞き、基本方針の作成にあたり参考とすることを目的とする。

2. 対象者

県立高校（全日制・定時制）校長、教頭、教諭、養護教諭及び実習助手 （以下「教員等」という。）	1,837人
---	--------

3. 調査方法

調査時期	令和6年11月25日（月）～12月20日（金）
調査方法	各高校へ依頼文を配付し、教員等へアンケートの実施を周知した。
回収数	720人（回収率39.2%）

4. 調査報告書の見方

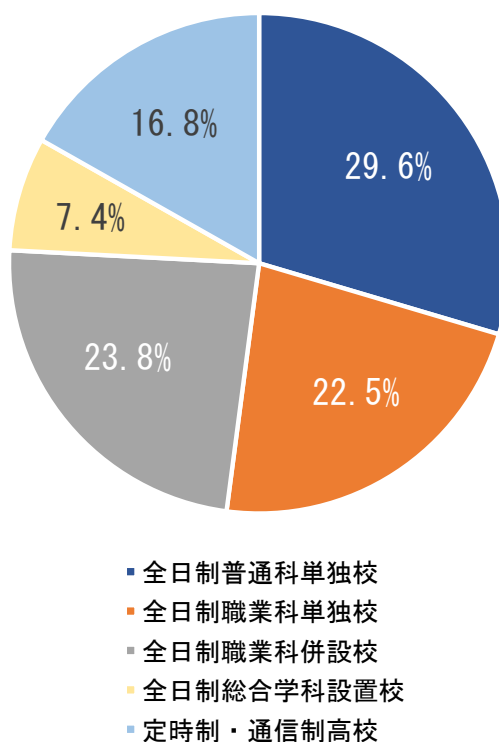
- （1）結果は百分率で表示した。百分比は小数点第2位を四捨五入した。したがって、百分比の合計が100%とならない場合がある。
- （2）複数回答の百分比は100%を超える。

Ⅱ 回答者の属性

問1 あなたの勤務校を選んでください。

回答者の勤務校は、「全日制普通科単独校」が15.9%、「全日制職業科併設校」が12.8%、「全日制職業科単独校」が12.1%、「定時制・通信制高校」が4.0%、「全日制総合学科設置校」が4.0%となっている。

勤 務 校

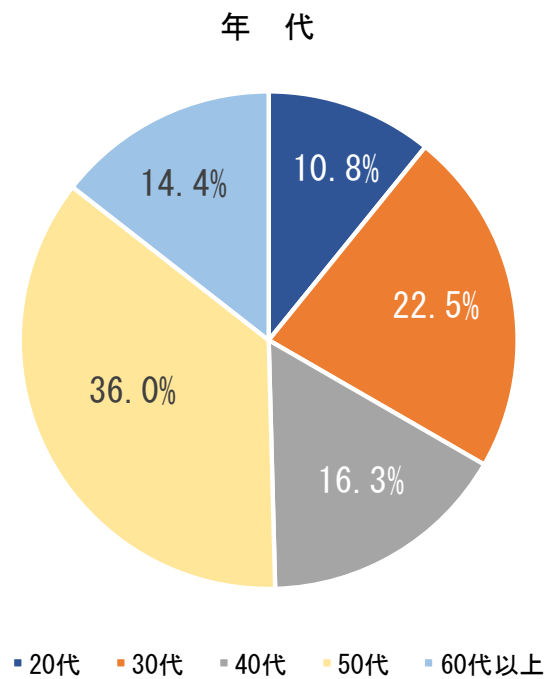


【勤務校 内訳】

勤務校	人	%
全日制普通科単独校	213	15.9
全日制職業科単独校	162	12.1
全日制職業科併設校	171	12.8
全日制総合学科設置校	53	4.0
定時制・通信制高校	121	9.0
合 計	720	100.0

問2 あなたの年代を選んでください。

回答者の年代は、「50代」が19.4%、「30代」が12.1%、「40代」が8.7%、「60代以上」が7.8%、「20代」が5.8%となっている。

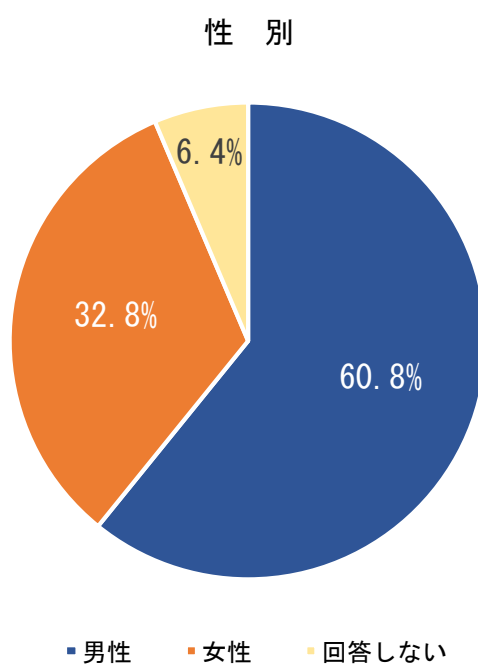


【年代 内訳】

年 代	人	%
20 代	78	5. 8
30 代	162	12. 1
40 代	117	8. 7
50 代	259	19. 4
60 代以上	104	7. 8
合 計	720	100. 0

問3 あなたの性別を選んでください。

回答者の性別は、「男性」が60.8%、「女性」が32.8%となっている。

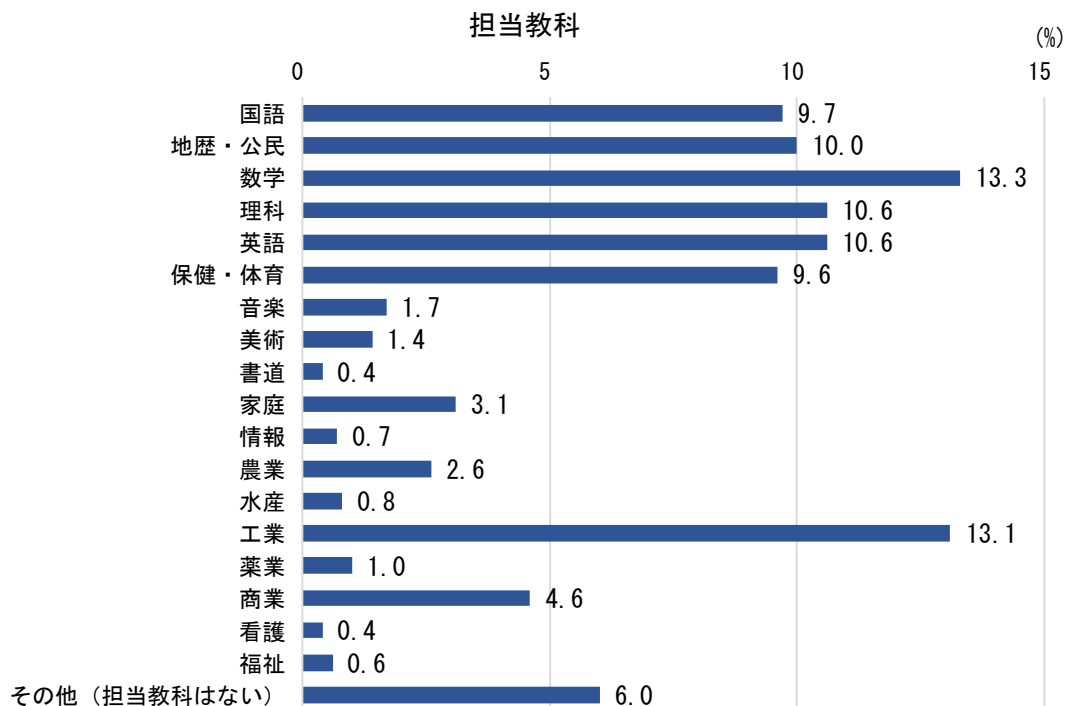


【性別 内訳】

性 別	人	%
男性	438	60.8
女性	236	32.8
回答しない	46	6.4
合 計	720	100.0

問4 あなたの主な担当教科を選んでください。

回答者の担当教科は、「数学」が 13.3%と最も高く、次いで「工業」が 13.1%、「理科」と「英語」が 10.6%、「地歴・公民」が 10.0%となっている。



【担当教科 内訳】

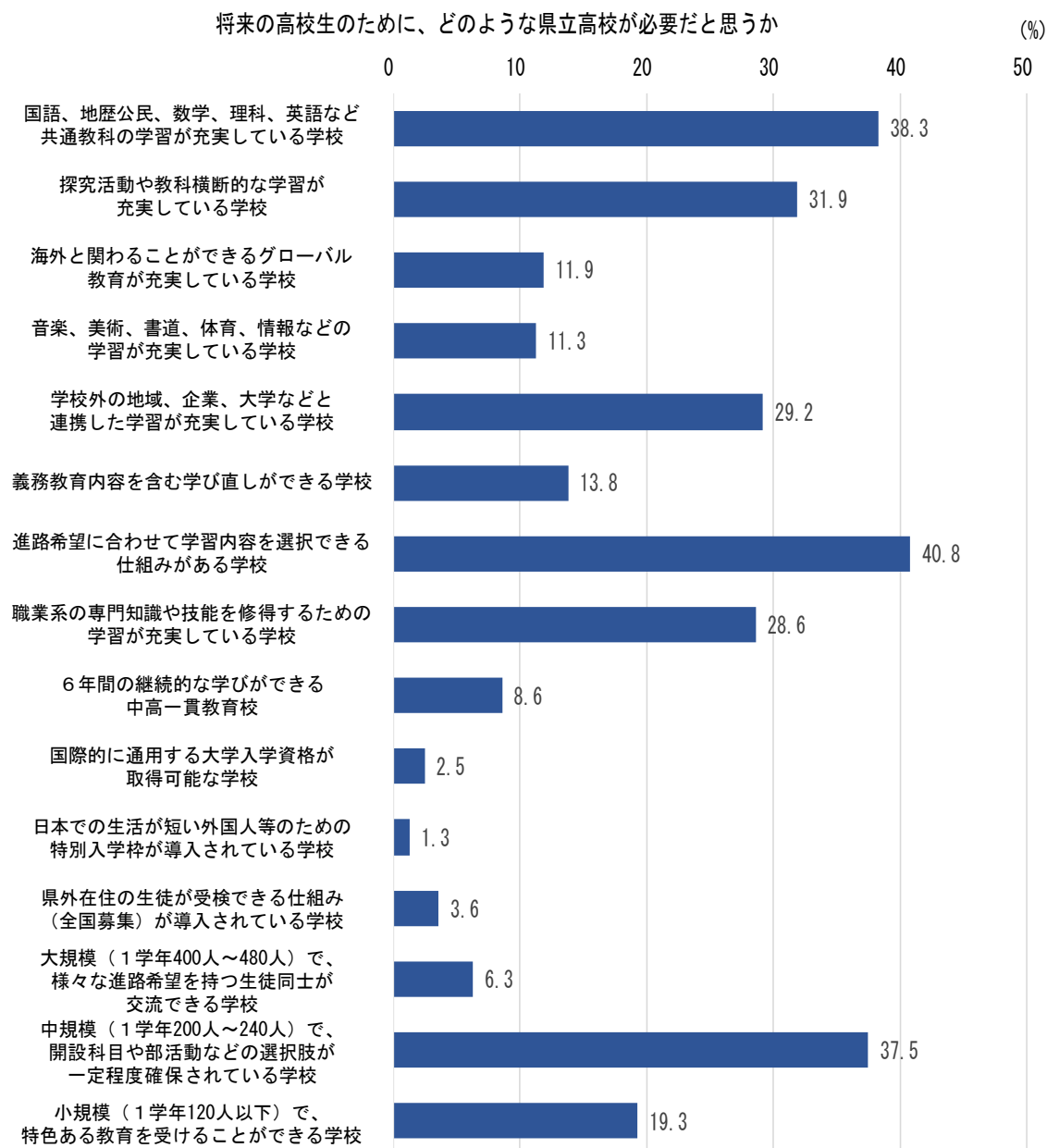
担当教科	人	%
国語	70	9.7
地歴・公民	72	10.0
数学	96	13.3
理科	76	10.6
英語	76	10.6
保健・体育	69	9.6
音楽	12	1.7
美術	10	1.4
書道	3	0.4
家庭	22	3.1
情報	5	0.7
農業	19	2.6
水産	6	0.8
工業	94	13.1
薬業	7	1.0
商業	33	4.6
看護	3	0.4
福祉	4	0.6
その他（担当教科はない）	43	6.0
合 計	720	100.0

Ⅲ 調査結果の概要

1. 将来の高校生のために、どのような県立高校が必要だと思うか

問5 将来の高校生のために、どのような県立高校が必要だと思いますか。次の中から必要だと思うものを3つまで選んでください。

将来どのような県立高校が必要だと思うかについて、全体では、「進路希望に合わせて学習内容を選択できる仕組みがある学校」が40.8%と最も高く、次いで「国語、地歴公民、数学、理科、英語など共通教科の学習が充実している学校」が38.3%、「中規模（1学年200人～240人）で、開設科目や部活動などの選択肢が一定程度確保されている学校」が37.5%となっている。



2. 県立高校の「目指す姿」(案)について感じたこと・将来必要だと考える教育の目標

問6 県立高校の「目指す姿」(案)について、よいと感じたこと・見直した方がよいと感じたことなどがあれば記入してください。

問7 県立高校の「目指す姿」(案)の中に3つの基本方針を掲げていますが、将来どのような教育の目標が必要だと考えますか。

目指す姿について	
1	これまでの統廃合の延長線上ではなく、抜本的な改革をうたっている点、新築も含めて高校設置を考えている点がよい。
2	数合わせ的な再編ではなく特色ある高校を設置しようとする考え方はよいと感じた。新しい高校を作ろうとするワクワク感がある。
3	高校を地域の枠で設置するのではなく、自分の学びたい学科、特色のある高校を選ぶことを大切にしていこうとしている方針にはとても共感する。さまざまな利害関係や価値観が存在し県民が納得するまでには時間を要すると思うが、とことん議論を重ねて現在の県立高校が抱える問題を少しでも改善していければと願っている。
4	新たな学校を20校つくるという発想でよい。個々の学校が価値創造できる特徴ある学校づくりを目指すべき。
5	目指す姿をはっきりと示したことは大変よいと思う。20校になるとのことだが、小出しにせず、最終形態とその過程までのプランも示していただきたい。
6	あまりにも大規模に変え過ぎなのではないかと率直に感じた。これまで各校が築いてきた様々な伝統が引き継がれなくなるのも残念だと感じる。
7	20校に削減はやり過ぎな感じがする。大規模校は学年の統括が困難であったり、個に対応した指導が難しくなるので、現場の現状に合っていないと思う。
8	中学生が進学する高校を選ぶ際には通学しやすさを最も重視することが明らかになっている。将来の高校配置を考える際、交通の利便性もセットで考えていただきたい。
9	変化が激しく予想困難な時代を生きていくために、地域や企業、大学などと連携し、教室で習得した知識をフルに活用することが必要だと思う。学ぶ意義や、知識は使うものということを知ることが大切。
10	時代のニーズに応じた学科・コース・系列等を設置することや、教育内容を明確にすることで、学校の特色化を図ることは必要だと思う。一方で、ある分野に特化することにより定員割れが生じることも心配される。
11	複数の学科構成は、正直厳しいのではないかと。学科の動きが異なり、学年や学校としての動きが統一しにくい。それが大規模校になればなるほど、より大変になるのではないかと感じる。
12	さまざまな選択ができることがよい。一度失敗しても、やり直しができるシステムが大事だと思う。
13	生徒それぞれが自分の進路に応じた教育を受けられる環境はよいと思う。高校の先生方が、これらを受け入れられるだけの資質と能力が求められてくるので、先生方への研修体制が必要となってくる。中学校の先生も同様に、多様な進路指導の研修が必要である。

14	教員を目指す人々へのアピールともなるよう、教員のウェルビーイングに関する記述を増やしてもよいのではないかと感じた。
15	理想は大変すばらしい。しかし、それを現場に丸投げされても困る。しっかりした方針と人員の確保が担保されないと、現場が疲弊する。

基本目標について	
1	「予測困難な時代において社会の変化やニーズを読み取り、社会参画できる」ようにするためには、考えさせるだけではなく考えたことを実践的に取り組もうとする行動力を育てる必要があると考える。
2	これからの時代のニーズに対応できる人材を育てることに加え、地元の産業を支える人材の両方をしっかりと育てることが必要だと思う。
3	「生徒が学びたい、学んでよかったと思える高校づくり」のためにも、まずは生徒に自信をもたせることが必須と考える。受験科目のみでなく、幅広く生徒の生きる力となるような科目もしっかりと学べる事が大切ではないか。
4	目標を達成するためには教員自身も学び続けなくては行けないが、現状はそれができるだけの十分な環境・体制とはいえないことが問題。
5	「富山ならではの」と独自性にこだわり、おかしな目標にならないようにしてほしい。
6	各高校がオンリーワンである必要はないと思う。
7	時代の流れや社会で求められていることからかけ離れないように子どもたちが学びを自分事として考えて基本目標を実現できるようにしてほしい。
8	将来の学びにつながるしっかりした基礎学力を身に付けさせたい。また、すでに（１）にあるが「レジリエンスを育む」ような教育が必要だと考える。どんな状況におかれても、たくましく、柔軟に、元気に生きていけるような子どもを育てていければと思う。
9	今後、地域の産業問題を分析し、デジタル技術を用いて解決策を提案できる能力や、環境問題や食料問題など、グローバルな課題に対する理解を深め、持続可能な社会の実現に貢献できる人材の育成に重点を置く必要があると思う。
10	方向性や興味関心をおおよそ考えておく必要はあるが、多様な文化に触れ合うことで考え方が変わることはあるし、変わってもよいと思う。

学科等について	
1	普通科系学科の区分にこれからの時代に必要な主な教育内容が盛り込まれており、また大規模、中規模、小規模校の利点が組み込まれており、生徒の選択肢が確保されている点がよいと感じた。
2	職業系専門学科を設置し、専門分野で活躍できるスペシャリストを育成することは大変よい。しかし、将来の進路先に大きく影響する専攻分野を中学生の段階で選択させるのは難しいのではないかと思う。高校入学後に学科選択ができる「一括募集」は有効な手立てだと思う。
3	地域や企業と連携することはどんどん進めるべきだと思う
4	全国的に少子化、国際化が進む中で、富山県も同じであり、その中で学びたいことに特化した教育課程は必要だと考える。
5	富山県には、中高一貫の公立校が無いので、将来的に設置されればよいと思う。
6	国際バカロレア認定校の導入ありきの姿勢はいかがなものか。県民、教員のコンセンサスが十分には醸成されていないし、準備不足。
7	少子化が進むにつれて、将来的には全国募集、外国人生徒特別枠は必要になってくるように感じる。

規模について	
1	大規模校の設置に興味がある。大規模校ならではの充実した教員の配置、多様な生徒がともに学ぶ場など、メリットを生かせるような学校になればよいと感じる。
2	大規模校が必要なのか。中規模・小規模校で、生徒一人ひとりに目が行き届く方がよいのではないかと考えた。
3	人は一人では成長しない。他者と関わることで、成長していく面は否定できない。ゆえに、ある程度の学校規模は必要と思う。
4	小規模校は教職員が少ないため通常の業務を行うだけで精一杯で、「特色ある教育」を行う余裕がない。「特色ある教育」をする代わりに部活動をしない等、思い切った業務の見直しが必要。小規模なら「生徒一人ひとりが手厚い指導が受けられる」は幻想であり、現実には教職員の時間外無償労働に依存しなければ成り立たない。校舎の清掃や維持管理もままならないのが実情である。地域からの様々な要請にも応えきれない。
5	小規模校3～4校となっているが、生徒の通学時間を考慮すると、もっと増やした方がよい。また、大規模校になじめない生徒もかなりの数が存在する。小規模校できめ細やかな指導を受けた方が効果的である。

3. アンケート調査票

県立高校の目指す姿に関するアンケート調査＜県立高校教員等用＞

＜あなた自身のことについてお尋ねします＞

問1 あなたの勤務校を選んでください。

- 1 全日制普通科単独校
- 2 全日制職業科単独校
- 3 全日制職業科併設校
- 4 全日制総合学科設置校
- 5 定時制・通信制高校

問2 あなたの年代を選んでください。

- 1 20代
- 2 30代
- 3 40代
- 4 50代
- 5 60代以上

問3 あなたの性別を選んでください。

- 1 男性
- 2 女性
- 3 回答しない

問4 あなたの主な担当教科を選んでください。

- | | | |
|---------|-------|-----------------|
| 1 国語 | 8 美術 | 15 薬業 |
| 2 地歴・公民 | 9 書道 | 16 商業 |
| 3 数学 | 10 家庭 | 17 看護 |
| 4 理科 | 11 情報 | 18 福祉 |
| 5 英語 | 12 農業 | 19 その他（担当教科はない） |
| 6 保健・体育 | 13 水産 | |
| 7 音楽 | 14 工業 | |

＜県立高校の「目指す姿」（案）についてお尋ねします＞

問5 将来の高校生のために、どのような県立高校が必要だと思いますか。次の中から必要だと思うものを3つまで選んでください。

- 1 国語、地歴公民、数学、理科、英語など共通教科の学習が充実している学校
- 2 探究活動や教科横断的な学習が充実している学校
- 3 海外と関わることができるグローバル教育が充実している学校
- 4 音楽、美術、書道、体育、情報などの学習が充実している学校
- 5 学校外の地域、企業、大学などと連携した学習が充実している学校
- 6 義務教育内容を含む学び直しができる学校
- 7 進路希望に合わせて学習内容を選択できる仕組みがある学校
- 8 職業系の専門知識や技能を修得するための学習が充実している学校
- 9 6年間の継続的な学びができる中高一貫教育校
- 10 国際的に通用する大学入学資格が取得可能な学校
- 11 日本での生活が短い外国人等のための特別入学枠が導入されている学校
- 12 県外在住の生徒が受検できる仕組み（全国募集）が導入されている学校
- 13 大規模（1学年 400 人～480 人）で、様々な進路希望を持つ生徒同士が交流できる学校
- 14 中規模（1学年 200 人～240 人）で、開設科目や部活動などの選択肢が一定程度確保されている学校
- 15 小規模（1学年 120 人以下）で、特色ある教育を受けることができる学校

問6 県立高校の「目指す姿」（案）について、よいと感じたこと・見直した方がよいと感じたことなどがあれば記入してください。

自由記述（ ）

問7 県立高校の「目指す姿」（案）の中に3つの基本方針を掲げていますが、将来どのような教育の目標が必要だと考えますか。

自由記述（ ）